

業績／主要な経営指標等の推移

Kirayaka Bank

経済環境

国内経済は緩やかに持ち直しており、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果により景気が持ち直していくことが期待されております。一方で世界的な金融引き締めの中、海外景気の下振れや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に注視していく必要があります。

当行グループ（当行及び当行の関係会社）の営業エリアである山形県経済につきましても個人消費や鉱工業生産、雇用情勢など総じて緩やかな持ち直しの動きとなりました。

きらやか銀行

■業績（連結）

経営成績につきましては、経常収益は、有価証券利息配当金等の資金利益が減少したことなどから、前年同期比4億61百万円減少し113億86百万円となりました。経常費用は、業務効率化や幅広い項目で物件費の削減を行い経費削減を行いました。大口と信先のランクダウンなどにより与信関係費用が増加したこと

などから前年同期比31億8百万円増加し136億48百万円となりました。その結果、経常損益は、前年同期比35億69百万円減少し22億61百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する中間純損益は、店舗再編に伴う減損損失、法人税等調整額の見直しもあり、前年同期比55億94百万円減少し47億33百万円の損失となりました。

主要な経営指標等の推移（連結）

（単位：百万円）

決算年月	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2021年3月期	2022年3月期
連結経常収益	13,223	11,848	11,386	27,768	24,024
連結経常利益（△は連結経常損失）	535	1,308	△2,261	△4,267	1,999
親会社株主に帰属する中間純利益 （△は親会社株主に帰属する中間純損失）	△594	861	△4,733	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益 （△は親会社株主に帰属する当期純損失）	—	—	—	△4,831	1,033
連結中間包括利益	△2,188	172	△11,307	—	—
連結包括利益	—	—	—	△3,454	△8,144
連結純資産額	62,768	64,287	44,258	64,371	55,769
連結総資産額	1,393,078	1,405,708	1,348,549	1,380,564	1,385,020
1株当たり純資産額	250.36 円	210.75 円	87.14 円	211.30 円	157.83 円
1株当たり中間純利益 （△は1株当たり中間純損失）	△5.58 円	4.53 円	△29.39 円	— 円	— 円
1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	△39.16 円	4.79 円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	— 円	1.66 円	— 円	— 円	— 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	— 円	1.97 円
連結自己資本比率（国内基準）	8.15 %	8.05 %	8.11 %	7.97 %	8.26 %

（注）1. 2020年9月期及び2021年3月期、2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり（中間）当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり（中間）当期純損失であるため記載しておりません。
2. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国内基準を採用しております。

主要な経営指標等の推移

Kirayaka Bank

■業績（単体）

経常収益は、有価証券利息配当金等の資金利益が減少したことなどから、前年同期比4億40百万円減少し87億94百万円となりました。経常費用は、業務効率化や幅広い項目で物件費の削減を行い経費削減を行いました。大口取引先のランクダウンなどにより与信関連費用が増加したことなどから前年同期比31億93百万円増加し110億32百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同期比36億34百万円減少し22億38百万円の損失、中間純利益は法人税等調整額が増加したことなどから、前年同期比56億56百万円減少し46億73百万円の損失となりました。

主要な経営指標等の推移（単体）

（単位：百万円）

決算年月	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2021年3月期	2022年3月期
経常収益	10,541	9,235	8,794	22,335	18,415
経常利益（△は経常損失）	569	1,396	△2,238	△4,364	1,976
中間純利益（△は中間純損失）	△525	983	△4,673	—	—
当期純利益（△は当期純損失）	—	—	—	△4,855	1,078
資本金	22,700	24,200	24,200	24,200	24,200
発行済株式総数	普通株式	129,697 千株	161,013 千株	161,013 千株	161,013 千株
	第Ⅳ種優先株式	100,000 千株	100,000 千株	100,000 千株	100,000 千株
	第Ⅴ種優先株式	50,000 千株	50,000 千株	50,000 千株	50,000 千株
純資産額	63,986	64,824	45,038	64,795	56,552
総資産額	1,385,972	1,397,640	1,340,676	1,372,323	1,376,622
預金残高	1,292,144	1,290,096	1,260,231	1,272,426	1,285,785
貸出金残高	1,051,289	1,004,330	976,617	1,010,025	998,837
有価証券残高	166,623	245,741	220,937	237,854	231,402
1株当たり純資産額	261.04 円	215.47 円	93.39 円	215.29 円	164.09 円
1株当たり中間純利益 （△は1株当たり中間純損失）	△5.05 円	5.29 円	△29.02 円	— 円	— 円
1株当たり当期純利益 （△は1株当たり当期純損失）	— 円	— 円	— 円	△39.35 円	5.07 円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	— 円	1.89 円	— 円	— 円	— 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	— 円	2.05 円
1株当たり配当額	普通株式	0.44 円	0.44 円	0.00 円	0.88 円
	第Ⅳ種優先株式	1.29 円	1.30 円	0.00 円	2.59 円
	第Ⅴ種優先株式	0.00 円	0.00 円	0.00 円	0.00 円
単体自己資本比率（国内基準）	8.29 %	8.19 %	8.25 %	8.09 %	8.42 %
従業員数 （外、平均臨時従業員数）	909 人 (210 人)	833 人 (192 人)	765 人 (174 人)	883 人 (208 人)	811 人 (189 人)

（注）1. 2020年9月期、2021年3月期及び2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり（中間）当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり（中間）当期純損失であるため記載していません。
2. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国内基準を採用しております。